TAKASHIMA CITY PUBLIC RELATIONS

広報たかしま

9
1
平成22年
NO.122

子どもサバイバル訓練（8月8日）
（写真…応急救護訓練のようす）

目次

【特集】災害に備える …… ❷–❺

お知らせ拡大版……❻–❽
タウントピックス……❾
子育て・市長の手帳 …… ❿–⓫
消費生活相談・Let's ごみ減量……⓬
みんなで5・7・5……⓭
病院だより……⓮
安心安全……⓯
暮らしの情報……⓰–⓴
教育委員会 information …㉑
健康生活……㉒
いきいき元気生活……㉓
国保年金あらかると・未来への種…㉔–㉕
そうだ図書館に行こう……㉖
窓口だより……㉗
歴史散歩……㉘

特集

災害に備える

9月1日は防災の日

▼海津大崎の床上浸水（７月16日撮影）

「災害は、自分の生きている間にはおこらない。」と思っていませんか。

高島市では、昭和28年の台風13号による水害以来、大きな災害がありません。しかし、今年７月15日の集中豪雨で、マキノ町では、海津大崎で床上浸水が2件発生し、大雨による土砂の流出で県道西浅井マキノ線は8月6日まで通行止めとなりました。この日、午後8時30分から9時30分までの1時間に、知内川大橋近くの下開田観測所では41㎜の雨を観測しました。50㎜程度の時間雨量はどこでも起こる可能性があります。災害はいつ、どこで起こっても不思議ではありません。

９月1日は「防災の日」です。防災について改めて考えてみましょう。

防災で大切なのは災害時のイメージ

現在、日本は地震の活動期に入っています。今後50年の間にマグニチュード7から8の巨大地震が50回程度起こると考えられています。今年８月８日９時46分にも京都南部でマグニチュード2．9の小さな地震が発生し、朽木柏、今津町日置前で震度1を観測しました。なんと全国でこの日に5回の地震が起こっています。

地震や豪雨は多くの被害を及ぼします。このような状況下、どうすれば大切な家族の命や財産を守ることができるのでしょうか。国や県、市に任しておけばよいというものではありません。災害に備え一人ひとりが考えていかなくてはなりません。

防災対策にとって重要なものの一つは、災害に対するイメージがわくかどうかです。イメージがなければ適切な防災対策はできません。災害が発生したときに自分の周りで起こりうる出来事を想像してみましょう。市でも、災害対策本部向けの図上シミュレーション訓練をはじめ出前講座にクロスロード（災害対応ゲーム）やハグ（避難所運営ゲーム）等のワークショップを取り入れるなど、災害時のイメージトレーニングを行っています。

日本赤十字社第４ブロック．合同災害救護訓練▶（今津総合運動公園）

琵琶湖西岸断層帯 震度6強の予測

昨年8月、国の地震調査研究推進本部地震調査委員会は、琵琶湖西岸断層帯の長期評価の一部を改訂しました。それによると、琵琶湖西岸断層帯は、北部と南部の二つに分かれて活動すると考えられています。（ただし全体がひとつの区間として活動する可能性もあります。）

断層帯の北部では、M7．1程度の地震が発生すると思われ、今後30年以内の発生確率は1％から3％以内です。

また、南部ではM7．5程度の地震が発生すると考えられ、今後30年以内の発生確率は0％と予測されています。

北部（高島市）で地震が発生した場合、市内で震度6強の揺れを観測するのではと予測されています。

防災意識を高めるために

市では、今年度から防災意識を高めるため、従来の受動的な出前講座から、市民ボランティア組織と協働し、市民の皆さんに積極的に働きかける方式の講座に改めます。

また、市では各区・自治会に対し、地域の防災マップの作成をお願いしています。この作成を通じ、地域のきずながより深まり、共助の体制が前進すればと考えています。未作成のところは早急に作成をお願いします。

また、次世代を担う子どもたちを対象に毎年、ライフラインが寸断されたとき、「いかに生活するか」「災害時、知恵と工夫で生き残るための精神を養うこと」を目的に子どもサバイバル訓練を行っています。

子どもサバイバル訓練

8月8日（日）、マキノ土に学ぶ里研修センターで、子どもサバイバル訓練を行いました。

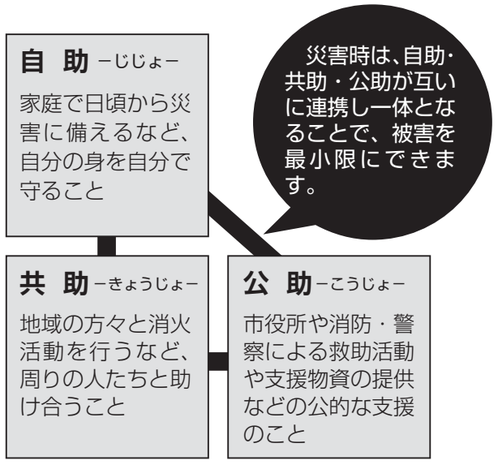
年々参加者が増え、今回は約 80 人もの家族が集まりました。

空き缶を使ってご飯を炊いたり、ビニール袋を使ってご飯やぜんざいをつくったりとサバイバルクッキングを楽しんだあと、「簡易ランプ」「新聞紙スリッパ」を作ったほか、「起震車による地震体験」、「応急救護訓練」など災害発生時の擬似体験を通じて、サバイバル知識や技術を学びました。

盛りだくさんの内容に、参加した皆さんは、悪戦苦闘しながらも協力して課題に取り組んでおられました。

今回学んだことを災害時にも活かしていただきたいと思います。

▲図上シミュレーション訓練



家庭でできる防災対策

防災対策で最も重要なものは、自助努力による対策です。一人ひとりができる防災対策について考えてみましょう。地震は遅かれ早かれ必ずやってきます。避けられないなら事前にしっかり備え、いかにして減災するかを考えてみましょう。

1. 耐震補強

昭和56年6月以前の建物は、近年の地震で大きな被害を受けています。

家を強くしなければ被害は減らせません。先ずは耐震診断からやってみましょう。

耐震診断については、都市計画課（☎22-0904）へお問い合せください。

2. 家具の転倒防止

地震による負傷原因で最も多いのが家具の転倒や家具からの落下物によるものです。新潟県中越地震では負傷原因の約40％を占めました。家具の転倒・落下防止対策は減災のため非常に効果的です。いろんなものが市販されていますので、用途やニーズに応じたものを選びましょう。

▲冷蔵庫などは固定ベルトで固定する。

▲桟（さん）にL型金具で固定する。

▲横木を取り付ける。

▲シャンデリアや天井から吊るした照明器具は釣り糸で四方から引っ張り固定。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。

▲つっかい棒は家具の奥で固定（奥でないと効果なし）。天井との間に隙間埋め収容ユニット（市販）でも可能。

▲家具の下にくさび状のものを挿入し後方に傾斜させるだけでも効果的です。

3. 家族で話し合う

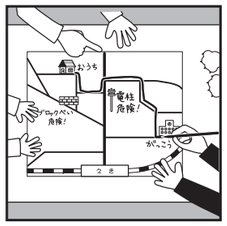
①非常時持出品の分別

非常時持出品は「あれば便利なもの」よりも、「無ければ困るもの」にしましょう。災害発生時すぐに持ち出す「一次持出品」と、避難生活に必要な「二次持出品」に分けて保管しましょう。

②家のまわりの安全地帯と避難ルート

避難する場合、どんなルートを通ると安全か確かめておきましょう。

区・自治会から配られた地域の防災マップを基に自分なりの避難マップを作っておくと実際の避難時に役立ちます。図上だけでなく、実際に歩いてルートを設定することが重要です。



③帰宅困難者にならないために

高島市民の約4分の1は市外へ通勤通学しています。地震で交通機関や情報網がまひしたら、家族のため徒歩で帰宅しなければなりません。地図を見るだけでは帰れません。自分の足で確かめることが必要です。高島では毎年ボランティア団体の主催で「サバイバル・ウォーク」が行われています。一度参加してみてはいかがでしょう。

★帰宅困難者とは

自宅から見て遠隔地（勤務先・学校・旅行など）で、主に大規模な地震に遭遇した時に、公共交通機関が動いていないため、帰宅することが難しくなった人々のこと。

■帰宅困難者の心得

・慌てず騒がず、状況判断
・携帯ラジオをポケットに
・作っておこう帰宅地図
・職場に準備、スニーカーと厚手の靴下
・安否確認は災害用伝言ダイヤルや遠くの親戚を通して
・一度は歩いて帰る訓練を

■帰宅困難者グッズ

・**最低限必要なもの**
スニーカー、地図、水、携行食品、厚手の靴下

・**もっておきたいもの**
食糧、携帯ラジオ、懐中電灯、雨具、タオル、ポケットティッシュ、リュックサック、軍手、救急用品

作ってみよう！ 防災グッズ

災害時、用意した防災グッズはガレキの下・・・ということも。今、手に入るもので急場をしのぐ手づくり防災グッズ。

新聞紙スリッパ

災害時、ガラスの破片などでけがをしないための応急対策

用意するもの
・新聞紙
・セロハンテープ

①新聞の全面を半分に折り、さらに4つにたたんで折しろをつける。

②上から4分の1のところを手前に折り、もう一度、手前に折る。

③縦の3分の1のところを後ろに折る。

④裏側の部分を、はさみこむように重ねる。

⑤スリッパのつま先の部分の角を三角におり、内側に折り込む。

⑥スリッパのかかとの部分、端から1cmあたりに、縦1cmに切り込みを入れる。

⑦切り込みを重ねて、かかとの部分が立つように形を整えながら、セロハンテープで止める

⑧裏側 スリッパを裏返し、底の部分を三角に折り込んで完成！

新聞紙スリッパ以外にも、左のようないろんな防災グッズがあります。出前講座で作り方などを紹介しています。講座の申込みなど、詳しくはお問合せください。

問 総合防災課
☎（25）8133

簡易ランプ

サバイバルめし

新聞紙トレイ

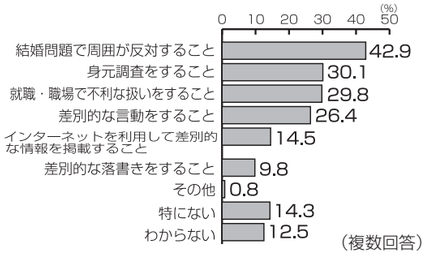
９月は同和問題啓発強調月間です

同和問題とは・・・

日本固有の人権問題で、日本の歴史過程の中で生み出された差別が、未だに残っているという問題です。特定の地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、日常生活の上で様々な差別を受けるということは、重大な人権侵害です。

では、同和問題について、どのような問題が起きているのでしょうか？

【同和問題に関し、どのような問題が起きているか】



※内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成19年）より

《結婚問題》

「人権擁護に関する世論調査（平成19年度内閣府）」の結果から、一番多かったのが「結婚問題で周囲が反対すること 42.9%」でした。出身地を理由に結婚を反対され、２人の思いが遂げられないといった問題が起こっています。また、普段、差別意識がない人でも、自分の身内のこととなれば正しい判断ができなくなることがあります。

《身元調査・就職採用問題》

次に多いのが「身元調査をすること　30.1%」でした。行政書士による戸籍謄本等の不正取得が発覚しています。また、結婚、不動産の売買、企業の採用選考等に関わって、同和地区の所在地を問い合わせるという事件が報告されています。

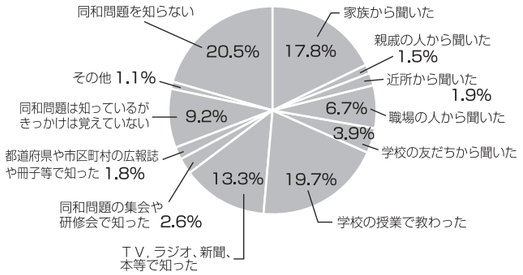
続いて、「就職・職場で不利な扱いをすること 29.8%」となっています。部落地名総監事件が発覚して30年が経ちますが、今なお新たな形で同様のリストが発見されています。

《差別表現について》

「差別的な言動をすること 26.4%」、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること 14.5%」、「差別的な落書きをすること 9.8%」も大きな割合を占めています。特に最近ではインターネットを利用して、同和問題にかかわる悪質な差別落書き行為が増えています。特定の個人を誹謗中傷することは「名誉毀損」、個人情報を流すことは「プライバシーの侵害」にあたります。

では、どのように同和問題は伝えられたのでしょうか？

【同和問題を知ったきっかけ】



※内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成19年）より

同和問題を知ったきっかけについて、家族、親戚、近所、職場の人、学校の友達から聞いた人の合計が３割を占めています。また、同和問題を知らない人が２割。特に20歳代では３割以上が知らない状況と大きな割合を占めています。

《同和問題の解決に向けて》

同和問題については「寝た子を起こすな」と言った意見もありますが、数世紀も前に生み出された差別が現在においても未だに残るのは、長い間、誤った知識や偏見が伝えられてきたからといえます。生まれた場所や住んでいるところで人を判断することは絶対にあってはなりません。同和問題を正しく理解し、行動できるよう、一人ひとりの課題として取り組むことが大切です。

《えせ同和行為が発生しています！》

同和問題を口実に、会社や個人に対し、高額な図書（数万円）などの購入を強要するといった不当な行為が高島市でも発生しています。「えせ同和行為」は、同和問題に対する誤った意識を植え付け、差別意識や偏見を助長し、新たな差別を生み出す原因となっています。

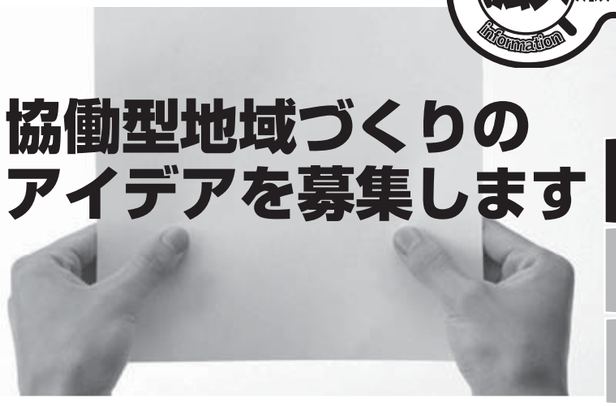
〈不当な要求を受けた時は〉

- あいまいな返事はせずに、き然とした態度で断固拒否する。
- 一人で対応せず、複数で対応する。
- 具体的な要求を受けた時は、警察、法務局、市役所へ相談する。
- もし、断ったにもかかわらず図書が送られたときは、受取拒否として返送する。

☆その他、詳細については、人権施策課へお問合せください。

問人権施策課　☎(25) 8524

協働型地域づくりのアイデアを募集します



高島市協働事業提案制度は、地域の諸課題やニーズを解決に導く協働型の地域づくりを行うためのアイデアを、市民、地域団体、ＮＰＯおよび企業等の多様な主体から募集し、行政と提案した団体等が連携、協力することによって事業化していくための新しい仕組みです。

提案を求める分野は、特に制限はありません。また、新たな事業提案だけでなく、市が既に実施している事業に関連する提案も可能です。

●募集する提案事業

平成23年度に実施する事業で、次のうちいずれかの方法で事業提案を行ってください。

①市民提案（創造型）
自由な発想でテーマを設定し、提案してください。

②行政提案（応募型）
次のテーマの中から選択し、提案してください。
テーマ１　ごみ減量大作戦
テーマ２　地域資源を活用した体験型観光の推進「五感で感じる高島の魅力　新しい資源」
テーマ３　心と体　いきいき健康づくり

●募集期間
９月１日（水）～10月８日（金）

●提案制度説明会
▼日　時　９月22日（水）13時30分～
▼場　所　新旭公民館　４階多目的ホール

●その他
詳しくは、市役所市民活動支援課にお問い合わせいただくか、本庁および各支所に設置する募集要項、または市のホームページをご覧ください。

問市民活動支援課
☎(25) 8522

地デジ準備お済ですか

アナログ放送終了まで、１年を切りました。平成23年６月末には、通常のテレビ放送は終了します。平成23年７月１日から放送終了のお知らせ画面を表示し、平成23年７月24日正午に全てのアナログ放送を終了します。それまでに、地上デジタル放送を視聴するための準備をしておく必要があります。まだ準備していない受信者の方は、お早めに準備をお願いします。

実際の表示内容、表示形式、時期等は今後変更される場合があります。

◆地デジ準備「なにをすれば良いのか解らない方」相談会にお越しください！

≪地デジ無料相談会 開催時間≫

開　催　日	時　　間	会　　場
９月10日（金）	10時～16時	朽木支所
９月13日（月）	10時～16時	新旭公民館
９月14日（火）	10時～16時	今津支所
９月15日（水）	10時～16時	マキノ支所
９月16日（木）	10時～16時	安曇川公民館
９月17日（金）	10時～16時	高島公民館

問 滋賀県テレビ受信者支援センター（デジサポ滋賀）
☎ 077－503－0101

地デジを口実にした悪徳商法にご注意を！

テレビ調査や工事を口実に料金を不正に請求したり、総務省やテレビ局などの関係機関の職員をかたり、切り替え手数料などを架空請求する悪質な事例が発生しています。

デジタル放送への対応で総務省やテレビ局、それらの関係機関がお金を請求することは一切ありません。

このような請求を受けたときは、すぐに支払わず、下記にご相談ください。

●近畿総合通信局　☎06（6942）0820
●高島警察署　☎(22) 0110
●高島市生活相談課　☎(25) 8125

平成22年国勢調査 10月1日、全国で一斉に実施

平成22年国勢調査は、日本国内に住んでいるすべての人を、普段住んでいるところで調査するものです。日本に住んでいる外国人も国籍に関係なく、調査の対象となります。調査結果は、選挙区の画定、福祉政策や災害対策など国や県・市の行政施策での利用をはじめ、市の重要な財源である地方交付税の配分にも影響を与える大変重要な調査です。

調査票の配布

調査員が9月23日（木）から9月30日（木）までの期間に、世帯ごとに皆様のお宅を訪問し、調査票の記入と提出をお願いします。

調査票の記入内容は、氏名、性別、出生年月など世帯員に関する事項の15項目および世帯の種類、世帯員の数など世帯に関する事項の5項目です。

調査票の回収

調査員が、10月1日（金）から10月7日（木）までの期間に調査票の回収に、皆様のお宅を訪問します。記入していただいた調査票は、調査票の配布時にお渡しします調査書類収納封筒に封をして調査員にお渡しください。調査員が調査票の記入内容を見ることは、ありません。

未提出世帯からの回収

調査票が提出されなかった世帯に対しては、調査員が10月22日（金）から10月24日（日）までの期間に訪問して、調査票を回収します。

平成22年国勢調査滋賀県人口予想クイズ

平成22年国勢調査による10月1日の滋賀県人口は何人でしょうか？

▼応募資格　県内在住・在勤・在学者

▼応募方法

官製はがきに次の事項を記入して郵送、または滋賀県ホームページ内「しがネット受付サービス」により応募してください。

※携帯からもアクセス可（QRコード　→　）

（1）予想人口数（記入例：○, ○○○, ○○○人）
（2）住所（郵便番号含む）
（3）氏名（ふりがな）、（「0～15歳」または「16歳以上」を記入）
（4）電話番号（連絡先）
（5）勤務先または学校名

※応募は1人1通で、予想人口は1つのみ
（複数応募の場合は全て無効とします。）

▼応募期間　10月7日（木）まで（当日消印・受信有効）

▼賞　品

ピタリ賞（1人）、準ピタリ賞（2人）、前後賞（10人）、残念賞（50人）

▼応 募 先

〒520-8577（住所不要）
滋賀県総務部統計課内
滋賀県統計協会クイズ担当
または
滋賀県ホームページ内
「しがネット受付サービス」へ
（ログインせずに処理から進んでください。）

〈参 考〉
各年とも10月1日現在の県人口

年次	滋賀県人口
平成17年（国勢調査）	1,380,361人
平成18年（県推計人口調査）	1,387,110人
平成19年（県推計人口調査）	1,394,809人
平成20年（県推計人口調査）	1,401,073人
平成21年（県推計人口調査）	1,402,132人
平成22年（国勢調査）	？　人

2010 国勢調査

両チームともに入賞

第45回滋賀県消防操法訓練大会

8月1日（日）、滋賀県消防学校で開催された第45回滋賀県消防操法訓練大会に、市消防団を代表して朽木分団（ポンプ車の部）と新旭第1分団（小型ポンプの部）が出場され、日頃の訓練の成果を存分に発揮し、優秀な成績を収められました。成績は次のとおりです。　（消防総務課）

《小型ポンプの部》新旭第1分団　第6位（全19チーム中）
《ポンプ車の部》朽木分団　第3位（全11チーム中）

この夏、全国の舞台に挑んだ高島市の若きアスリートたち

この夏に開催された全国大会の予選や標準記録を突破して出場された選手の皆さんの健闘を称えます。　（敬称略）

平成22年度 全国高等学校総合体育大会

期間　7月20日～8月20日
会場　沖縄県

○陸上競技
清水　陽介（高島高3年）
保木　翔太（高島高3年）
○ソフトテニス
横田茉梨鈴（高島高3年）
木村　奈摘（高島高3年）
○ボート
池田　力信（高島高3年）
福住　直哉（高島高3年）
久保　良輔（高島高3年）
飯古　祐勝（高島高3年）
○ウェイトリフティング
垣貫　良太（安曇川高2年）
八田　庄太（安曇川高2年）
中村　友昭（安曇川高2年）
真鍋　武偉（安曇川高2年）
澤井　　翼（安曇川高2年）
原田　祐希（安曇川高3年）
西村　圭陽（安曇川高3年）
中川　雄大（安曇川高3年）
山下　大貴（安曇川高3年）
小林　和麿（安曇川高3年）
○水泳競技
西川　和輝（京都文教高3年）
※高島中出身
○自転車
志村　勇樹（瀬田工業高3年）
※高島中出身

第92回 全国高校野球選手権大会

期間　8月7日～8月21日
会場　兵庫県阪神甲子園球場

吉田　健吾（北大津高3年）
※安曇川中出身

第37回全日本中学校 陸上競技選手権大会

期間　8月20日～8月23日
会場　鳥取県コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場

松井　　偉（今津中3年）
前田　裕樹（今津中3年）
堀田　百恵（今津中3年）
松宮　悠起（安曇川中3年）
渕田　有美（安曇川中3年）

第33回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

期間　8月25日～8月30日
会場　東京辰巳国際水泳場

京谷　真央（今津東小4年）
京谷　真琴（今津東小6年）
中村　海渡（高島中1年）
西川　　翔（高島中2年）
西川　和輝（京都文教高3年）
※高島中出身

（市民スポーツ課）

湖上での熱い、暑い！戦い!!

第19回西びわ湖ペーロン大会

7月25日（日）、第19回西びわ湖ペーロン大会（西びわ湖ペーロン大会実行委員会主催）が今津町南浜湖岸で開催されました。

市内外から一般の部31チーム、女性の部7チームが参加し、往復600mのコースを競漕しました。

今年は晴天にめぐまれ、真夏の太陽の下、懸命にオールを漕ぐ選手たちに、浜辺から大きな声援が送られました。

【ペーロン競漕の結果】
《一般の部》
優　勝　棒突曹会
準優勝　ペトちゃんず
第3位　岸脇パワーズ

《女性の部》
優　勝　龍舟小町
準優勝　松陽台トマホープ555
第3位　三谷オーシャンクルーレディース

（西びわ湖ペーロン大会実行委員会）

子どもの虐待をなくそう！④

しつけと、虐待のちがい
～保護者の意図ではなく、子どもの立場で考える～

子ども虐待の問題に関わっていると、よく「どこからが虐待で、どこまでがしつけなのか」と聞かれることがあります。また、虐待をしている人の中には「しつけのためにした。」と言われる人もあります。

しかし、しつけと虐待は同じ延長線上にあるものでなく、質的に違うものです。

「しつけ」とは、子どもに自分で行動をコントロールする力をつけるための行為であり、「虐待」とは、保護者の意図や思いに関わらず、子どもの健全な成長をじゃまする不適切な扱いをいいます。たとえ保護者が「しつけ」ととらえていても、子どもの立場から判断します。その目に見える状況ではなく、保護者が子どもの感情や思いをくみ取ることができて、子どもの立場に立てているかを実際の基準にしています。

このことから、愛情に根ざしたしつけのつもりであっても、保護者の行為が子どもに著しい害を及ぼすものであれば、それはまさしく虐待であるといえます。虐待は子どもの側から理解すべきであり、子どもに対する悪影響の有無を最優先して判断します。

	支配型虐待	しつけ	放任的虐待（ネグレクト）
行為の目的	・親の期待通りの行動をとらせる	・理性による	・親の都合が優先 ・結果としての状態
手　段	・命令・押し付け ・暴力または脅迫、期待	・話し合いによる理解	・ほったらかし ・子どもの言いなり
子どもの人格	・認めない	・尊重	・放任 ・「子どもに任せている」という親も
親と違う意見	・表現できない	・できる	・できる
親の決まり文句	・「親の言う事を聞け」 ・「おまえのため」	・「きちんとしろ」	・「勝手にしたら」
社会のルール	・無視または絶対化	・常に意識	・無視
他人の援助	・拒否	・受け入れ ・一応考慮	・拒否
子どもへの影響	・ロボット（操り人形） ・支配ー被支配の人間関係 ・迎合と弱い者いじめ	・自己決定と自己責任 ・安定した情緒交流	・わがまま ・人間関係が希薄 ・虚しさを感じる

<参考文献>
・「ストップ・ザ・子ども虐待Ⅳ」北九州市児童虐待防止連絡会議
・「市町向けの子ども虐待対応マニュアル」滋賀県健康福祉部子ども・青少年局

通告先

子ども家庭相談課 ☎（25）8517 または市内各保健センター

滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎0777（562）1121

市長の手帳

いつまでも笑顔で暮らす元気なおじいさん、おばあさんでいてほしい！！

いくつになっても、元気でこころ豊かに楽しく暮らすためには、「健康」であることが何よりも大切です。

市では、中高年の皆さんの健康づくりを支えるため、健康診査や人間ドック・がん検診に力を入れています。また、健康相談や健康教室を通じて、保健師や栄養士による生活改善についてのアドバイスなども行っています。ぜひ、ご活用ください。

また、健康づくりの基本の一つである運動習慣の定着を進めるため、健康推進員さんにご協力いただき、市内6地域のウォーキングマップを現在作成しています。マップには、各コースの見どころも盛り込み、楽しく歩けるよう工夫されていますので、ぜひ皆さんの健康づくりに役立てていただけたらと思います。

そして、住み慣れた地域で社会との関わりを保ちながら、生きがいを持ち、自分らしく生活することも大切です。

長年培ってこられた豊富な知識や経験などは、地域になくてはならないものです。地域に出て人とふれあうなかでボランティア活動や世代間交流などにも積極的に参加していただきたいと思います。

そして万一、生活するために手助けがいる状態になっても、住み慣れた地域で自立した生活を続けていけるよう、そのための基盤整備を進めてまいります。

おじいさん、おばあさんが元気で、そして笑顔で暮らしていただけることが私の願いであり、その実現に向け、精一杯取り組ませていただきます。

放課後広場『友達100人できるかな』
～園児の親子が集える場～

放課後広場「友達100人できるかな」は、市内で唯一の幼稚園・保育園児の親子が集える場です。

子どもたちの有り余る体力の発散の場として、また、子育ての苦労や悩みを解消する交流の場を目的として、平成22年4月に開設しました。

現在の活動は、運動場で自由に遊んだ後に、おやつを食べながら絵本の読み聞かせ等をしています。

ところで、皆さんの子どもの頃に楽しかった遊びはなんでしょうか？ 自然の中で遊んだり、友達の輪の中で遊んだことは、とても楽しい記憶として心の中に残っていませんか？ 子どもたちに、身近にある豊かな自然の中で友達と共に「外遊び」を通じて、そのおもしろさ・大切さについて再発見・再認識してほしいと願っています。

▼安曇川会場
・場所　藤波幼稚園　運動場
・日時　毎週水曜日　15時30分～17時

▼高島会場
・場所　高島保育園　運動場
・日時　毎週金曜日　15時30分～17時

※園の休園日および雨天の場合は中止（両会場共通）

《放課後広場の活動に関わっていただける方を募集しています》

頭と体を使う昔ながらの遊びの魅力を教えてくださる方、平日お休みのお父さん、子どもたちと遊ぶのが大好きな学生さんなど大歓迎です。ぜひ遊びに来てください。

問 子育て支援課 ☎（25）8136

8125 相談窓口から はい！ニッコリ

バーベキュー中にカセットボンベが爆発！

カセットこんろを2台並べ、その上に鉄板を置いて使っていたら、カセットボンベが爆発し、やけどを負った。

<事　例>

◎原　因

2台並べたカセットこんろの上に大きな鉄板を乗せたため、カセットボンベが鉄板の放射熱で加熱されて、ボンベ内の圧力が異常に上昇、爆発したものです。

※放射熱とは・・・物体が温められた熱で、他の物体が温められること。

◎事故を防ぐために

・カセットこんろを2台以上並べて使わない。
・カセットこんろを覆うような大きな鍋や鉄板を使わない。
・木炭の火起こしなど、調理以外の用途に使わない。

カセットこんろを使用するときは、取扱い説明書をよく読んで、正しく使いましょう。

問 生活相談課 ☎（25）8125

Let's! ごみ減量

「燃えないゴミA類」ってどんなもの？

市では、燃えないゴミはA類とB類に分けて収集しています。今回はA類について紹介します。

●燃えないゴミA類

・**陶磁器類**（茶わん、さら、花瓶、植木鉢など）
・**ガラス製品**（コップ、窓ガラスなど）
・**電球**

※量が多いときは回数を分けて出してください。
※割れたものはコンテナからこぼれないように、袋などに入れて出してください。

注意

次のものは燃えないゴミではありません

・蛍光灯 → **有害ごみ**

・飲食用ビン、化粧品ビン、服用する薬のビン等 → **資源ごみ**

収集された燃えないゴミA類は、今津地域は今津不燃物処理場に、朽木地域は朽木不燃物処理場に埋め立てています。

マキノ、安曇川、高島、新旭地域は、処分場がすでにいっぱいになり市内で埋め立てできないので、大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）の処分場で埋め立てています。

▼平成21年度 年間収集量 178．21t（総ごみ量（19，596t）に対する割合0．91％）

問 環境政策課 ☎（25）8123

すてきな作品をお待ちしています！

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。また、応募は未発表作品を一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。

（企画広報課）

次回締切　10月31日（掲載は12月1日号または1月1日号です。）

古家に　老いた二人の　さしむかい　桑　洋一（新・太田）
和やかに　花のシャワー浴び　海津崎　中崎　徳子（朽・桑原）
買わないで　夢は大きく　宝くじ　清水　真夫（今・今津）
昔から　夏はやっぱり　盆踊り　梅村　保次（安・四津川）
押車（おしぐるま）　朝の散歩に　感謝する　前川　たつ（新・針江）
若がえり　菅政権に　あけぼのを　山本　節子（朽・雲洞谷）
ハウス物　旬の顔して　笑っている　藤森みち子（朽・柏）
四季問わず　我が耳いつも　蝉しぐれ　松山八夜美（今・今津）
宮参り　我が腕の中　すやすやと　山田木乃奈（今・下弘部）
晩酌　肴は妻の　笑顔かな　山本喜代治（安・長尾）
花菖蒲　雨に光りて　梅雨の入り　畠山美智子（朽・麻生）
母逝きて　五年過ち（た）ても　まだ淋し　大辻トミ子（朽・岩瀬）
朝がきて　今日一日を　予約する　本城　和枝（新・太田）
卓球　孫にまけぬと　意地をはる　岡本恵美子（マ・沢）
夏を終え　夏の風景　夢と去り　寺田　義輝（マ・西浜）
想い出し　梅雨の二十五日　赤い紙　土井登美雄（安・三尾里）
土用のウシ　鰻の悲鳴　どこからか　木津　みね（高・拝戸）
郷（さと）の夜　清き川辺に　舞う蛍　西村ちよ子（高・音羽）

風呂あがり　メジャー片手に　腹を見る　坂尾　眞一（新・旭）
受けた恩　石に刻めと　教えられ　松本せつ子（マ・海津）
生意気も　伸び行く証　頼もしく　北坂　修（高・武曽横山）
畑荒す　野ざると競う　夏の朝　水口　順（マ・森西）
夏雲よ　長崎の娘は　平和です　曽根しづ江（マ・沢）
看病で　仮眠の娘に　白髪見る　髙澤　芳枝（今・松陽台）
ブブゼラの　耳をはなれず　草を引く　井口　みよ（高・高島）
治療法　ないのが悲しい　口てい疫　上田　ナツ（マ・浦）
はかまいり　もうじきくるよ　せきたのむ　上田幸次郎（マ・浦）
ゴキブリに　お団子コロコロ　御成佛　八田　信子（高・高島）
長雨が　続きよろこぶ　梅雨の草　河原田うた子（今・岸脇）
もうあかん　手にも足にも　力なし　前田　とみ（今・浜分）
消費税　苦しめないでね　我が家には　川本　一男（安・北船木）
ツバメさん　可愛いいけれど　糞土産　小谷　ひで（高・高島）
アオイ花　のぼり咲き見て待つ　梅雨の明け　栗津　満子（マ・山中）
翁（じい）さんと　今日は仲よく　デー（サービス）の日　北川　千代（高・勝野）
味のある　話をくれる　人と居る　髙橋　久一（新・藁園）

募広集告
あなたのお店や事業の広告を出しませんか？　問 企画広報課　☎（25）8114
広報誌
■11月1日号締切　9月24日（金）
■掲載料　10,000円／1枠（1か月1発行号限り）
ホームページ
■10月掲載分締切　9月10日（金）
■掲載料　1か月10,000円
みてねっと！「ウィークリーニュース」の最終画面に掲載主の社名表示付き！

新病院本棟建築工事進む!!

大地震に耐える強固な病院に

公立高島総合病院では本年度から3年をかけて病院建設工事を実施します。その中心となる病院本棟の建築工事が病院南側の建設用地（旧駐車場）で7月から始まっています。

年内は主に基礎工事を進める予定です。地中の工事のため新病院の形は見えてきませんが、大規模地震に耐えられる強固な病院を造るための重要な工程です。

なお地上部分の工事は来年ごろから本格化する予定です。工事のため、ご利用の皆さんには引き続き大変ご不便をおかけしますがご協力をよろしくお願いします。

（安全祈願祭）

（南棟4階から見た工事現場全景）

問 公立高島総合病院　病院建設部
☎（36）8089

七タコンサート

～ヨシ笛の音色に笑顔で口ずさむ～

フォトギャラリー

7月7日、高島総合病院では「七タコンサート」を開催しました。

午前中は看護師によるハンドベルの演奏隊が各病棟を回り、午後からは高島市内で結成された「はまヨシ笛の会」の皆さんがヨシ笛の演奏を披露してくださいました。ハンドベルの演奏は毎日勤務終了後に練習し当日に臨みました。緊張した面持ちの中、ハンドベルを演奏して廊下や口ビーを回ると、患者さまや家族の方がハンドベルの音色に誘われ病室から出て来られ喜ばれる笑顔に少し緊張もほぐれました。午後からのコンサートには、1階ホールに車椅子やベッドで患者さんが集まり、また地域の方にも多数参加してくださいました。皆さんがヨシ笛演奏と共に笑顔で口ずさみ楽しんでおられる姿に、私たち職員は喜びと癒しを感じました。

ご来場いただきました皆さん、ボランティアの皆さんありがとうございました。

台風シーズンに備える

9月は台風シーズン。私たちはどのように備えればよいのでしょうか。

●台風がくる前に

・非常持ち出し品の準備をする。
・最寄の避難所や避難経路を確認する。
・防災マップをよく見えるところに貼っておく。

●台風が近づいたら

・危険な場所に近づかない。
・注意報や警報など、気象情報に注意する。

避難勧告がなくても必要と思われる場合、勇気をもって避難することが大切です。

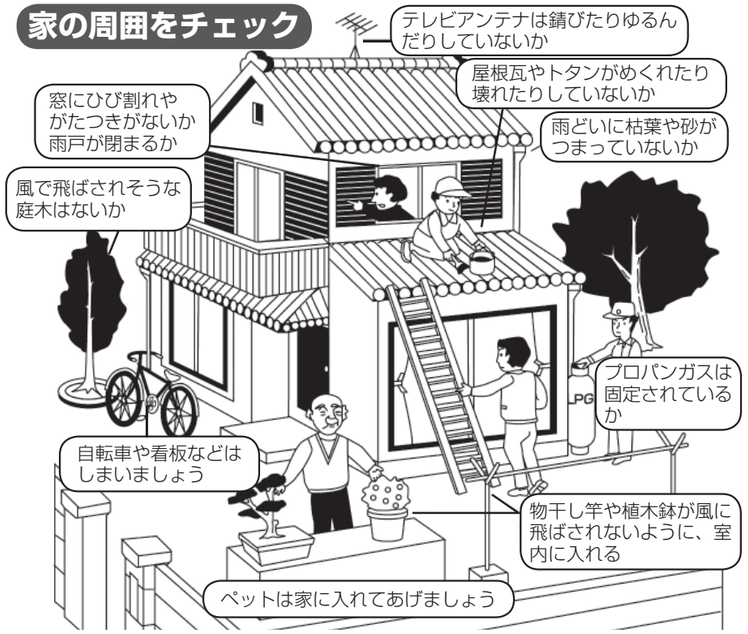
9月25日は、忘れてはならない「安曇川大水害の日」です。

昭和28年、台風13号の影響で大雨となり、総雨量が458㎜に達し、安曇川は随所で決壊、死者13人を出す大災害となりました。あれから57年、市内では幸い大規模な災害は起こっていませんが、今年も全国各地でゲリラ豪雨による災害が起こっています。

家族みんなで話し合い、万全の準備を行いましょう。

問 総合防災課 ☎（225）8133

家の周囲をチェック



高島市内の交通事故発生状況　（平成22年7月末現在）

●発生状況（累計）

	今年	昨年	増減
人身事故発生件数	127件	118件	9件
死者数	3人	0人	3人
傷者数	159人	153人	6人

発生場所	
マキノ	18
今津	31
朽木	3
安曇川	31
高島	19
新旭	25

●交通事故の特徴

事故の形態

追突　35件（27.6%）
出合頭　42件（33.1%）

高齢者（65歳以上）の事故

37件（29.1%）

7月の 火災・救急・救助 件数

（ ）内は年累計

▼火災

建物火災／0（6）　車両火災／0（2）
林野火災／0（0）　その他火災／0（6）

▼救急

交通事故／18（115）　一般負傷／28（204）
急病／132（839）　その他／25（179）

▼救助

火災／0（7）　交通事故／2（12）
水難事故／1（1）　その他／5（10）

（注）【救急】　その他＝火災＋労働災害＋運動競技＋加害＋自損行為＋転院搬送等
（注）【救助】　その他＝自然災害＋機械事故＋建物事故＋ガス事故＋爆発等

問 消防総務課　☎（22）1234

暮らしの情報

お知らせ

（仮称）地域活動活性化事業補助金（一括補助金）説明会

市では、区・自治会が自主的に行う防犯・防災活動、地域福祉・交流活動、市との協働活動など、公益性のある多様な地域活動に対して補助金を一括交付する「（仮称）地域活動活性化事業補助金」制度の創設を検討しています。

来年度からの実施に向け、9月に地域を分けて原案の巡回説明会を行い、市民の皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思います。

お近くの会場での説明会にぜひお越しください。

▼地区巡回説明会日程

〈マキノ地域〉
①9月28日（火）19時30分～
マキノ土に学ぶ里研修センター2階
②9月29日（水）19時30分～
小荒路集会所
③9月30日（木）19時30分～
マキノ商工会館2階

〈今津地域〉
①9月1日（水）19時30分～
今津公民館 西分館2階和室
②9月13日（月）19時30分～
今津支所 2階会議室
③9月15日（水）19時30分～
今津北コミュニティセンター2階和室
④9月17日（金）19時30分～
今津上コミュニティセンター1階和室

〈朽木地域〉
①9月2日（木）18時00分～
生杉集会所
②9月6日（月）19時00分～
朽木支所 3階研修室
③9月8日（水）18時00分～
平良集会所

〈安曇川地域〉
①9月15日（水）13時30時～
安曇川ふれあいセンター
カルチャールーム
②9月15日（水）19時30分～
安曇川世代交流センター
スポーツ交流室
③9月16日（木）19時30分～
安曇川ふれあいセンター
カルチャールーム
④9月29日（水）19時30分～
安曇川ふれあいセンター
カルチャールーム

〈高島地域〉
①9月7日（火）19時30分～
高島支所2階 大会議室
②9月27日（月）19時30分～
高島支所2階 大会議室

〈新旭地域〉
①9月9日（木）20時00分～
新旭公民館 4階多目的ホール
②9月16日（木）20時00分～
新旭公民館 4階多目的ホール

問市民活動支援課 ☎（25）8526

お薬手帳を2倍に効果検証にご協力ください

「お薬手帳」は、副作用の防止や重複薬剤の投与の抑制、緊急受診時の医療情報などとして活用されていますが、さらに使いやすい手帳にするため、手帳のサイズを大きくし、記載内容等を検討したモデル版手帳を配布してその効果を検証します。

ご協力いただける方は、かかりつけ薬局にお問い合わせください。

▼対象者
市内にお住まいの75歳以上の方で簡単なアンケート調査、医療費追跡調査に同意協力いただける方

▼配布期間　9月1日（水）～
※モデル版手帳がなくなり次第終了します。

▼配布場所　市内の保険薬局

▼モデル版手帳の特徴
・大きさが今までの2倍になります。
・保険証、診察券が入るポケット付カバーがつきます。

※滋賀県後期高齢者医療広域連合が滋賀県医師会・滋賀県薬剤師会等と連携して行う「高齢者健康づくり基盤整備モデル推進事業」の一環として実施するものです。

問健康推進課 ☎（25）8078

「屋外広告物クリーンキャンペーン」実施

▼実施期間
9月1日（水）～9月10日（金）

▼実施内容
①屋外広告物法についての規制法令の普及啓発
②道路上等に掲出された屋外広告物法に違反する広告物（はり紙、はり札等、広告旗または立看板等）の撤去作業
③違反広告物是正の取り組み

問都市計画課 ☎（22）0904

募集

市営住宅入居者募集

〈市営住宅〉

◆定期募集

▼募集期間
9月1日（水）～9月14日（火）

※募集する住宅は、8月31日（火）に市役所、各支所の掲示板で公表します。

◆随時募集

▼募集住宅
第2古賀団地（3DK）
11,700円～17,400円
上野第1団地（3K）
13,200円～19,600円
上野第3団地（3K）
11,400円～17,000円
上野第4団地（3DK）
12,300円～18,300円

▼申込資格
1．市内に居住、または、勤務地を有する方（朽木地域は除く）
2．住宅に困っている方
3．入居予定者全員の合計の収入月額が15万8千円以下の方
4．税金の滞納がない方
5．その他、市の基準を満たす方

〈中堅所得者向け賃貸住宅〉

◆定期募集

▼募集期間
9月1日（水）～9月14日（火）

▼募集住宅
第2サニーハイツ・マキノ（3DK）50,000円

◆随時募集

▼募集住宅
荒川惣田団地（3DK）
32,000円
サニーハイツ・マキノ（3DK）
48,000円

▼申込資格
1．同居する親族のいる方
2．入居予定者全員の合計所得が一定額以上の方（年令によって金額が異なります。）
3．税金の滞納がない方

※募集の住宅は、平成22年8月1日現在の状況です。
※詳しくは、市のホームページもしくは、住宅管理課までお問い合わせください。

問住宅管理課 ☎（22）0048

マキノ公民館 秋の公民館教室受講生大募集

10月からマキノ公民館で3つの教室がスタートします。

【本格ステンドグラス教室】
▼対　象：一般成人
▼定　員：15人
▼開 設 日：10月～2月
基本土曜日（5回）
▼開設時間：13時30分～16時30分
▼開設場所：マキノ土に学ぶ里研修センター
▼会　費：500円
（材料費等自己負担）
▼用意頂く工具：ガラスカッター、プライヤー、電気ハンダゴテ（ハンダ）

【基礎の基礎からはじめる料理教室】
▼対　象：一般成人
（男性も大歓迎）
▼定　員：15人
▼開 設 日：10月～2月
基本土曜日（5回）
▼開設時間：9時30分～12時30分
▼開設場所：マキノ土に学ぶ里研修センター
▼会　費：500円
（材料費等自己負担）

【ワンコイン教室「初めての陶芸教室」】
▼対　象：一般成人（陶芸初心者）
▼定　員：30人
▼開 設 日：10月～2月
基本土曜日（5回）
▼開設時間：10時～正午
▼開設場所：マキノ土に学ぶ里研修センター
▼受 講 料：1回500円
（材料費等自己負担）

◆募集期間
9月1日（水）～15日（水）

◆申込方法
休館日を除く9時～17時にマキノ公民館に電話で直接お申し込みください。

問マキノ土に学ぶ里研修センター
☎（27）1131

ゆめぱれっと会講座 参加者募集

働く女性の家では、市民会員で構成する「ゆめぱれっと会」が主催で、会員の持っている知識や技術を活かした講座を開催しています。

メイクアップ4dayレッスン ～土曜日コース～

1日ではなかなか覚えられないメイクを4回のレッスンにわけ、基本から修得します。ときどきでも、キレイになる時間を楽しんでみませんか？

拡大版　タウントピックス　子育て　子育て・市長の手帳　消費生活・省エネ　みんなで575　びょういんだより　安心安全　暮らしの情報　教育委員会　健康生活　元気生活　国保年金　国保年金・未来への種　図書館　窓口だより　歴史散歩

▼**日　程**
①眉メイク……9月25日(土)
②ベースメイク：10月23日(土)
③アイメイク：…11月27日(土)
④リップ&チーク：12月18日(土)
▼**時　間**　9時30分～11時30分
▼**場　所**　働く女性の家研修室
▼**講　師**　風間美香子さん
▼**定　員**　各回10名
※1回のみの参加も可能ですが、継続して受講されることをお勧めします。
▼**受講料**　各回　1，000円
▼**持ち物**
鏡、髪どめ、筆記用具、いつもお使いのメイク用具
▼**申込方法**　電話・ファックス
▼**受付時間**
9時～21時（火～土曜日）
※日・月曜日は休館日のためファックスのみ
問働く女性の家　☎(22)5775

第3回 高島市バレーボールカーニバル参加チーム募集

高島市内の職場、地域、サークル等のバレーボール愛好者による相互の友好と親睦を深めるため、9人制男女混合によるバレーボール大会を開催します。
▼**日　時**　10月11日(月)　9時～
▼**場　所**　新旭体育館
▼**参加資格**
高島市内に在住または通勤・通学されている方で、男女混合で編成されたチーム
▼**内　容**
・**種　目**：9人制競技規則に本大会が定める特別ルール
・**ネットの高さ**：2．15m
・**使用球**：4号球
・**男子の攻撃**：アタックライン後方の指定ラインより可
※試合の方法等は参加チーム数により抽選会時に協議し決定します。
▼**参加費**　1チーム1，000円
▼**募集期間**　9月25日(土)　17時まで
▼**申込方法**
電話またはファックスで、申込者の連絡先をご記入のうえ、高島市体育協会内バレーボール協会までお申し込みください。
問・申高島市体育協会（安曇川総合体育館内）
☎・FAX(32)2543

交通安全スローガン募集

交通事故のない、安全で住み良い湖国滋賀を築くため、来年度の交通安全キャンペーン等に使用する「交通安全スローガン」を募集しています。
▼**募集期間**　9月21日(火)～10月31日(日)
▼**テーマ**
県民みんなで交通安全をすすめる雰囲気があふれる、滋賀県らしい特徴のあるもの
▼**応募資格**
県内在住もしくは通勤・通学している方
問・応滋賀県交通対策協議会事務局
〒520-8577
大津市京町四丁目1-1
（県庁交通政策課内）
☎077(528)3682

「人権ラブソングフェスティバル」出演者募集

人権（愛や思いやり等）に関わる歌を歌ってみませんか。
▼**募集期間**　9月30日(木)まで
▼**参加費**　無料
▼**出演予定組数**　20組
▼**対象者**
県内に在住または通勤・通学の方で、グループ・ソロを問いません。
▼**出演時間**　1組　10～15分程度
▼**日　時**　12月5日(日)　10時30分～
▼**場　所**　滋賀県立文化産業交流会館
問(財)滋賀県人権センター人権啓発担当
☎077(522)8253

障害者手帳をお持ちの方のパソコン教室受講者募集

障がいのある方の社会参加を一層促進するため、次のとおりパソコン教室を開催します。
▼**日　時**
10月22日(金)～12月10日(金)
全7回　いずれも金曜日
10時～正午
▼**場　所**
安曇川ふれあいセンター
▼**対象者**
市内在住で身体障害者手帳をお持ちの方
▼**定　員**　7人
▼**内　容**
ワード、エクセルの操作を中心に教室を進めます。パソコンボランティアがお手伝いしますので、あまりパソコンに触れたことがない方でも安心して受講できます。
▼**参加費**　無料

▼**募集期間**　9月25日(土)まで
問・申地域生活支援センター「ほろん」
☎(22)4041
FAX(22)4131

滋賀県立視覚障害者センター出前教室　参加者募集

視覚に障がいがある方々が、高島市視覚障害者福祉協会会員との交流により社会参加のきっかけとなるよう、出前教室を開催します。
▼**日　時**
10月6日(水)　13時～15時
▼**場　所**
安曇川障害者デイサービスセンターアンフィニ
（安曇川町下小川2441-4）
▼**対象者**
高島市内在住で視覚に障がいのある方とその家族、ボランティア活動に関心のある方、民生委員など
▼**内　容**
日本の文化である「風呂敷」を、エコバック等の日常に活かす包み方を学びます。
※風呂敷2枚・大判ハンカチ・箱ティッシュ1箱をご持参ください。
▼**参加費**　無料
▼**募集期間**　9月22日(水)まで
問・申滋賀県立視覚障害者センター
☎0749(22)7901

催し

陸上自衛隊今津駐屯地創立58周年記念行事

陸上自衛隊今津駐屯地では、創立58周年を記念して、記念式典・訓練展示・戦車試乗・装備品展示等を行います。
皆様のお越しをお待ちしております。
▼**日時**　9月19日(日)
9時～15時
▼**場所**　陸上自衛隊今津駐屯地
問陸上自衛隊今津駐屯地
☎(22)2581

「チョコラ」上映会

「チョコラ」は、ケニアのストリートチルドレンに寄り添い、彼らが思春期を力強く生きていく様を描いたドキュメンタリー映画です。
お気軽にご参加ください。
▼**日　時**
10月3日(日)　14時～16時
▼**場　所**　高島市民会館　大ホール
▼**対象者**　市民の皆さん
▼**出　演**
歌うボランティア奈良わたぼうし
ヨサコイ踊り高島チーム
糸賀一雄記念合唱ワークショップ

高島わたぼうしコンサート

ハンディキャップのある人たちが生きる証として書き綴った詩には、心に響く熱いメッセージがあふれています。あなたをそんな歌の世界にいざないます。
▼**日　時**
10月2日(土)　13時30分～16時
▼**場　所**
安曇川ふれあいセンター
ふじのきホール
▼**定　員**　200人程度
▼**参加費**　無料
※事前予約をお勧めします。
▼**申込方法**
電話、ファックス、メール
問高島市国際協会事務局
（今津東コミュニティセンター内）
☎(20)1180
FAX(20)1182
✉tifa822@ares.eonet.ne.jp

ギターと抒情歌&新旭湖岸の桜守報告会

2年間の、新旭湖岸の桜守作業報告・樹木医会による生育調査報告と第3回気軽に集えるコンサートを開きます。今回は佐々木滋隆さんのギター演奏とソプラノ歌手山本隆子さんの抒情歌を楽しみます。
▼**日　時**　9月27日(月)
報告会：10時～11時30分
演奏会：11時45分～13時
食事会：13時～14時
▼**場　所**　かばた館（新旭町）
▼**定　員**　60人（要予約）
▼**参加費**
食事会会費　1，000円
▼**入場料**
18歳以上　1，000円
高校生・中学生　700円
障害のある方　500円
※チケット販売のお問い合わせ
高島市社会福祉協議会本部
☎(36)8220
障害者支援施設　清湖園
☎(22)3490
地域生活支援センターほろん
☎(22)4041
問地域生活支援センターほろん
☎(22)4041

▼締　切
9月15日（水）（先着順）
▼申込方法
電話、ファックスでお申し込みください。
問・申トンボとその仲間たち（大石まで）
☎・FAX（25）5848

相談

無料税務相談会

所得税、法人税、消費税に関する悩み、商売を始められたときの税に関する手続き、相続や生前贈与にかかる税金の相談など、お気軽にご相談ください。高島市内の税理士が相談に応じます。

▼日　時
10月2日（土）
13時30分～16時30分
▼場　所
今津東コミュニティセンター
▼その他
事前にご予約ください。
予約時間　9時～16時
（先着6人）
問・申今津納税協会
☎（22）3733

特設人権なんでも相談所

毎日の生活の中で差別やいじめなど、人権に関わる問題で悩んでいませんか。ひとりで悩まずに、人権擁護委員に相談してください。相談は無料で、秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

▼日　時　9月8日（水）
13時～16時
▼場　所　高島市役所本庁会議室
問人権施策課　☎（25）8524

全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

高齢者や障害者に対する虐待など、様々な人権問題の解決を図るため、人権擁護委員、大津地方法務局職員が電話相談をお受けしています（月～金　8時30分～17時15分）。
9月6日から12日までは、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間として、受付日時を拡大して電話相談をお受けしています。秘密は厳守されますので、お気軽にお電話ください。
☎077（522）4673
▼日　時
9月6日（月）～9月12日（日）
8時30分～19時
（土・日：10時～17時）
▼場　所
大津地方法務局人権擁護課内
▼対　象
高齢者や障がい者、そのご家族等
問人権施策課　☎（25）8524

障がいのある方の「働き相談会」

「仕事をしたいが、なかなか見つからない。」
「仕事をしているが課題がたくさんある。」など、仕事に関する悩み事の相談会を開催します。

▼日時　9月17日（金）
13時30分～15時30分
▼場所　高島市役所本庁相談室
（受付　障害福祉課）
▼対象
・障がいのある方で、就労しにくい方や就労の継続に課題のある方
・障がいのある方を雇用している事業所の方
▼費用　無料
※事前申込みは不要です。
問湖西地域障害者就業・生活支援センター
☎（22）3876
障害福祉課　☎（25）8516

有料広告

募集広告

60歳からスイミング… シニア特別会員受付開始
退職後の健康管理をお手伝いいたします!!
プール&マシン30日券 通常6,000円 → 60歳以上の方は3,000円 大好評受付中!
成人水泳教室・アクアウォーキング
大好評 アクアビクス 月・火・木曜
利用料のみのおトクなプログラムが豊富!
高島市今津B&G海洋センター
お問い合わせ 0740-22-6778 B&G

広報誌
■11月1日号締切　9月24日(金)
■掲載料　10,000円/1枠（1か月1発行号限り）
大きさは、縦28mm×横85mmです。ちょうど、この募集広告の枠の大きさになります。
ホームページ
■10月掲載分　9月10日(金)
■掲載料　1か月10,000円
広告に関するお問い合わせは 企画広報課へ 0740(25)8114

借金問題 相談無料
弁護士 野田 隼人
滋賀弁護士会所属
高島法律事務所
相談予約 ☎20-1218　受付 9:30-20:00　安曇川駅前

教育委員会information

7月に開催しました定例教育委員会についてお知らせします。

学校規模適正化の取り組み

近年の少子化に伴う児童数の減少により、市教育委員会では、良好な教育環境を整備する必要があるため、市内小学校の適正規模化を検討する時期に来ていると考えています。

●適正な学校規模は

小学校と中学校の学級数は、学校教育法施行規則により「12学級から18学級を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでない。」となっています。

しかし、近年の児童生徒数の減少に伴い、文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会で学級数見直しの協議がされています。現時点では、標準規模（12～18学級）を下回る学校には、次のような課題があるため、現在でもこの規模が妥当ではないかとの意見が大勢となっています。

《小規模校の課題の一部》
①クラス替えができず人間関係が固定しやすい。
②教育活動の幅が狭くなる。
③男女の偏りが生じやすい。
④授業の中で児童から多様な発言が引き出しにくい。

●学級の人数は

また、中央教育審議会では、学級の人数を現行の40人から引き下げる協議がされています。この中で、20人未満の小規模な学級については課題が指摘されていることから、概ね1学級の適正な人数は、20人から35人として想定されていると考えられます。

●望ましい学校規模

国の適正な学校規模の検討状況を参考に、現時点での小学校の規模としては、クラス替えができるよう1学年に41人以上の児童がいることが望ましいと考えています。

●今後の取り組み

市教育委員会では、児童数が100人未満の小学校について、教育的見地から子どもにとって何が大事かという視点を第一に学校のあり方を検討していく必要があると考えています。

特にマキノ地域は以前から小学校のあり方の協議を行い、本年度は小学校PTA役員、保育園役員の意見を拝聴しました。今後も、保護者の皆さんと十分な協議を進め、地域の方のご理解も得ながら適正な学校規模の検討に取り組んでいきます。

（学校教育課、教育総務課）

第7回定例会報告

7月23日開催

▼主な協議・報告事項

・平成22年度教育研究所夏季研修、講座について
・マキノ地域の学校規模適正化について
・国、県要望について
・平成22年度歴史体験学習会「たかしま歴史楽」について
・びわこ全国青少年演劇祭について

放課後の子どもたち ③

～夏休み後の、子どものケア～

長い夏休みも終わり、二学期が始まりました。夏休み中は、子ども会活動など地域での異年齢による集団活動等を通して社会性が育まれる機会が多くあります。しかし、最近では、少子化やテレビゲームによる一人遊びの増加等の影響により、人との関わりや集団で何かを成し遂げる経験が少なくなっていると言われています。

二学期は、運動会や文化祭などの集団活動の機会が多く、子どもたちの心や身体が大きく成長する時期です。一方で、人間関係等の要因で不登校などの問題が表れることの多い時期でもあります。特に不登校は、早期発見・早期対応が非常に大切ですので、子どもの変調に早く気づくとともに、学校や専門機関等に相談してください。

市教育委員会では、子どもたちが健やかに育つよう教育相談・課題対応室や北部教育相談室を設置し、ボランティア相談員の協力を得ながら相談に応えています。

○教育相談・課題対応室　☎（32）4406

教育委員会informationに対するご意見等は、高島市教育委員会事務局教育総務課 ☎(32)1132までお気軽にお寄せください。

結核制圧！

結核健康診断を9月から開始

結核は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりました。しかし、まだまだ克服された過去の病気ではありません。

平成20年の1年間に、約24，000人が発病し、約2，200人が亡くなっている日本で最大の感染症です。

市では、9月から結核健診（無料）を行います。対象の方には受診票を郵送していますので、この機会にお近くの会場で受診しましょう。

▼対　象者　高島市民で65歳以上の方（昭和21年3月31日以前に生まれた方）
▼健診方法　胸部レントゲン撮影
▼健 診 料　無料
※申込は不要です。

▼健診日

マキノ	今　津	新　旭
10月7日（木）	9月13日（月）	9月7日（火）
13日（水）	15日（水）	9日（木）
18日（月）	17日（金）	10日（金）
29日（金）	27日（月）	16日（木）
	10月14日（木）	

安曇川	高　島	朽　木
9月17日（金）	10月25日（月）	9月9日（木）
10月5日（火）	26日（火）	13日（月）
19日（火）	27日（水）	10月6日（水）
22日（金）		

※ 各地区の会場および時間割は、受診票に同封されている日程表でご確認ください。（どの会場でも受診できます。）
※ ■の日は、リフト車を配車します。

問 健康推進課 ☎(25)8078 または各保健センター

献血にご協力ください！

成 分 献血

採血時間が1時間ほどかかりますが、必要な成分だけ抜き取り赤血球等は採血者に返されるため体の負担が少なくすみます。**各保健センターで予約してください。**

▼対　象　18歳～69歳
（40歳以上の方で1年以内に心電図を撮っていない方と、初めての方はご協力いただけません。）

日程	種類	会場	時間
9月3日(金)	成 分	安曇川保健センター	10時・11時・13時・14時
9月17日(金)	全 血	マキノ保健センター	10時～11時30分
9月17日(金)	全 血	マキノ病院	13時30分～15時30分

全 血 献血

短時間でできる献血です。予約は要りません。
▼対　象　16歳～69歳（初めての方は64歳まで）

空気中には、いろんな細菌やウイルスがいます。外出したら必ず手洗い・うがいをしましょう。

連　絡　先

各種健診や食に関する相談、健康に関することなどお気軽にお電話ください。（平日8時30分～17時15分）

- ●マキノ保健センター … ☎(27)1128
- ●今津保健センター … ☎(22)5101
- ●安曇川保健センター … ☎(32)4413
- ●朽木保健センター（朽木支所） … ☎(38)2331
- ●高島保健センター … ☎(36)8008
- ●新旭保健センター … ☎(25)8110

健康相談や乳幼児の健診などの日程は、「たかしま健康だより」か市のホームページをご覧ください！

9月21日は世界アルツハイマーデー

1994年9月21日に国際アルツハイマー病協会の国際会議で、患者やその家族への支援を進めること等が記された宣言が発表されました。

宣言文

「この病気は人の脳の中の、思考、記憶、言語等を司る部分を破壊します。患者自身はいうに及ばず、家族、友人も知的機能を失った者との精神的、肉体的、経済的関わりのなかで日々戦いを余儀なくされます。
私たちは、このような患者と家族に対して、理解をもって生活の質の権利を擁護すべき支援をしていきます。
私たちは、アルツハイマー病及び関連の諸疾患に関する世界的啓蒙の普及を図ると共に、地球規模での理解と把握につとめ、患者と家族への支援を推進するために努力し働きかけていきます。（一部抜粋）」

市でも、「認知症になっても安心して暮らせる地域」を目指して各地域で認知症サポーター養成講座を開催しています。

【病気として理解する】
認知症とは脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりして障がいが起こり、生活に支障が出ている状態をいいます。

【認知症の人の杖になる】
「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間杖（理解者）」を増やしていくことが重要です。

【認知症サポーターとは】
何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分でできる範囲で活動します。

認知症になっても安心して暮らせるまちを皆さんの手によって作っていくことを目指しています。興味、関心のあるグループや地域の方は、ぜひ各地域包括支援センターまでご連絡ください。

家族介護教室のお知らせ

認知症をテーマに専門家を招いて教室を開催します。介護者同士の情報交換や専門家を交えての勉強会や話し合いをします。
日々の悩みや疑問を少しでも解消しましょう。個別相談もお受けします。

▼時　間　11時～15時頃
▼対　象　介護中の方、介護に関心のある方
▼参加費　昼食代（1,000円程度）
▼申込方法　開催日前日までに各地域包括支援センターまでお申し込みください。

場　所	開 催 日	講　師
安曇川保健センター	9月22日(水)	琵琶湖病院 松田　桜子 医師
高島保健センター	10月5日(火)	やまゆりの里 山﨑　雅也 認知症専門指導士
丸八百貨店（朽木）	10月27日(水)	
安曇川老人福祉センター	11月5日(金)	

元気カレッジ　9月の予定

おおむね65歳以上の方の介護予防教室です。
どの会場でも参加できますので、お気軽にご参加ください。

▼時　間　10時～正午
▼持ち物　お茶、タオル

※申込みは不要です。

問 各保健センター

場　所	開 催 日	内　容
今津保健センター	9月3日(金)	転ばぬ先の体力づくり
マキノ保健センター	9月10日(金)	歌って元気！こころもはつらつ
高島保健センター	9月13日(月)	
やすらぎ荘（新旭）	9月17日(金)	転ばぬ先の体力づくり
朽木保健センター	9月24日(金)	
安曇川保健センター	9月27日(月)	

介護、介護予防、健康、福祉、高齢者虐待防止、権利擁護などの相談をお受けしています。

マキノ 今津 新旭 問 北部地域包括支援センター 今津保健センター内 ☎(22)0193

朽木 安曇川 高島 問 南部地域包括支援センター 安曇川ふれあいセンター1階 ☎(32)2520

退職（失業）による特例免除制度をご利用ください

退職（失業）により、保険料を納めることが経済的に困難な場合、翌年度まで納付が免除される制度です

厚生年金に加入していた方が退職（失業）されると、市役所で国民年金の加入手続きを行い、月額15，100円（平成22年度の金額）の保険料を納めることになります。

ただし、保険料を納めることが経済的に困難な方には、申請によって保険料の納付を免除される特例免除制度があります。

この制度は、退職（失業）した年度および翌年度に限り、利用することができます。通常、保険料が免除されるためには、申請者本人・配偶者・世帯主の方が所得基準の範囲内である必要がありますが、特例免除では、審査の対象となる申請者本人の所得を除外して審査を行います。

●申請方法

▼持ち物 雇用保険受給資格者証や雇用保険被保険者離職票等の公的機関の証明書の写し

▼申請先 市役所保険年金課または最寄りの支所窓口

必ずしてください！ 被保険者種別変更の届出

20歳になった時や、退職された時など、被保険者種別が変わった時には、必ず市に届出してください

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入しなければなりません。届出は加入する時だけでなく、被保険者種別が変わったときにも必要です。もし、届出されなかった場合、**年金額が少なくなったり受け取れない**場合もありますので、必ず届出をしましょう。

届出が必要なとき	異動の内容	持ち物	届出先
20歳になったとき（厚生年金や共済年金加入者を除く。）	**第１号被保険者**となります。	**・印 鑑**（本人自署の場合は不要）	市役所 保険年金課 または 各支所
退 職したとき（厚生年金や共済年金加入者の場合）	第２号被保険者から**第１号被保険者**になります。（第３号被保険者に該当する場合を除く。）	**・印 鑑**（本人自署の場合は不要）**・年金手帳**	
配偶者に扶養されていたが、配偶者が厚生年金、共済年金を辞めたとき	第３号被保険者から**第１号被保険者**になります。	**・印 鑑**（本人自署の場合は不要）**・年金手帳**	

ご存知ですか？ 若年者納付猶予制度

30歳未満の方で、前年の所得が一定以下の場合に保険料の納付が猶予される制度です

国民年金には、経済的な理由などで保険料を納めることが困難な場合、申請をして承認されると、保険料の納付が猶予される若年者納付猶予制度があります。

30歳未満の方で、本人・配偶者の前年の所得が一定額以下であれば申請により、保険料の納付が猶予されます（世帯主の所得は審査の対象外です）。

保険料を納めないままにしておくと「もしも」のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。納めることが困難な場合は、申請をしましょう。

申請は、市役所保険年金課または各支所窓口まで。

問保険年金課 ☎（25）8137　大津年金事務所国民年金課 ☎077（521）1789

高島市産業連携推進協議会

水源の里から 高島のええもん・うまいもんをお届け

「びわ湖高島産直市」を吹田市で開催

昨年9月に市内農業・商業・工業をはじめとする産業の連携を推進するために発足した「高島市産業連携推進協議会」のメンバーが、7月16日（金）に、北千里駅前広場で産直市を開催しました。高島市と吹田市はフレンドシップ協定を結んでおり、今回、吹田市から会場を紹介いただき、産直市の開催が実現しました。

北千里駅は、阪急千里線の終点駅で、千里ニュータウンに近く、半径500mに12，000人が居住し、1日の乗降客は約3万人、駅前バス利用者は約4千人と、平日でも絶えず人が行きかう場所です。

産直市は、午前9時から開店し、出店した16事業所は、野菜や、鯖寿司、小鮎の天ぷら、椎茸、地酒、クレープのパジャマ、ステテコなど高島の特産品の販売、観光PRを併せて行いました。特に野菜は人気があり、ほぼ完売となる盛況ぶりでした。

これからも、毎月1回、産業連携の取り組みとして、北千里を中心に高島のええもん・うまいもんを販売することで、新たな販路の拡大をめざしていきます。

※構成団体

農業センター、JAマキノ町、JA今津町、JA新旭町、JA西びわこ、森林組合、漁業振興連絡会、物産振興会、地場産業センター、観光協会、商工会

問特産品振興室 ☎（25）8511

窓口だより

人の動き（人口と世帯）平成22年7月末現在

●人　口----------53,974人
・前 月 人 口---53,990人（ −16）
・前年同月人口---54,312人（−338）
男----------26,238人
女----------27,736人
●世帯数----------19,700世帯

平成22年7月6日から平成22年8月5日までの届出分（敬称略）

本ページの掲載情報は、個人情報保護の観点から許可をいただいた方のみ掲載しています。

お誕生おめでとう！（出生）

氏名	性別	生年月日	ところ
マキノ			
久保井 稔喜	男	7月21日	寺久保
今津			
桧山 耀生	男	7月 1日	今 津
白須 一之心	男	7月 2日	今 津
古田 朱乃	女	7月 4日	深清水
田中 宗佑	男	7月 6日	住 吉
照屋 大虎	男	7月 9日	日置前
清水 司翔	男	7月12日	南新保
杉浦 瑠菜	女	7月19日	南新保
浦谷 幸成	男	7月19日	松陽台
磯辺 怜那	女	7月20日	今 津
浅田 泰我	男	7月20日	弘 川
中尾 友奈	女	7月20日	日置前
新旭			
成本 渚	女	6月 7日	旭
玉木 遥翔	男	6月27日	旭
饗庭 心美	女	6月28日	饗 庭
浅見 成香	女	7月 2日	太 田
市川 七羽	女	7月10日	旭
石田 朱璃	女	7月12日	安井川
福田 凛翔	男	7月15日	熊野本
山川 愛未	女	7月22日	藁 園
川島 瑠南	女	7月24日	藁 園
安曇川			
田中 大和	男	6月29日	西万木
鞍田 一気	男	7月 9日	西万木
川越 みら唯	女	7月11日	下小川
藤野 隼迅	男	7月13日	上小川
戸次 世奈	女	7月17日	中 央
中原 光祐	男	7月17日	西万木
服部 結月	女	7月20日	青 柳
三浪 葵	女	7月20日	青 柳
高島			
生駒 真梨	女	6月30日	勝 野
小川 颯介	男	7月12日	勝 野
梅辻 彩	女	7月27日	鵜 川
朽木			
田原 善	男	7月 6日	宮前坊
田中 真次郎	男	7月26日	野 尻

謹んでお悔やみ申し上げます（死亡）

氏名	性別	年齢	ところ
マキノ			
久我 照道	男	77	小荒路
篠原 吉雄	男	94	山 中
前川 きく	女	93	大 沼
吉野 健司	男	66	海 津
今津			
赤塚 史朗	男	79	名小路
井上 トミ	女	96	椋 川
岡本 孫義	男	86	深清水
桂田 健次郎	男	83	深清水
桂田 トミ	女	63	弘 川
澁田 八重子	女	64	角 川
藤原 清嗣	男	82	深清水
藤原 はつ	女	86	今 津
前川 サエ	女	82	弘 川
柳森 きゑ	女	93	今 津
山本 孝子	女	84	天増川
山本 恒藏	男	79	藺 生
新旭			
田谷 君子	女	59	安井川
中川 末一	男	84	藁 園
平田 たつ子	女	58	安井川
松尾 賢彦	男	76	太 田
松代 重一	男	86	安井川
水江 早百合	女	78	饗 庭
森田 茂登雄	男	77	針 江
山川 浩	男	58	針 江
山本 信次	男	88	熊野本
安曇川			
川越 良久	男	76	下小川
志村 啓太郎	男	85	田 中
保井 俊一	男	79	田 中
横井 彦一	男	86	田 中
吉本 荘道	男	90	北船木
高島			
大辻 アキ子	女	76	音 羽
川合 幸一	男	62	黒 谷
田原 重雄	男	88	拝 戸
朽木			
岡本 こう	女	74	古 屋
川島 茂	男	92	地子原
南沢 仁一郎	男	71	栃 生

9月 納付のお知らせ

▼税・介護保険料・後期高齢者医療保険料

項目	期別	納期限
固定資産税	第3期	9月30日
国民健康保険税（普通徴収）	第6期	
介護保険料（普通徴収）	第6期	
後期高齢者医療保険料（普通徴収）	第3期	

■ 納期限までに納めましょう。納期限までに納付されない場合は、督促手数料や延滞金が加算されることになります。
■ 口座振替の方は預貯金残高の確認をお願いします。

○窓口延長業務（午後8時まで）を行っています。

月 市役所本庁・朽木支所　火 マキノ支所　水 安曇川支所
木 高島支所　金 今津支所

今月のおすすめ

新着・新刊案内は、各図書館での掲示、またはホームページをご覧ください。

『作って楽しむ信州の漬物』

横山タカ子／著　（信濃毎日新聞社）

信州の“秘蔵の漬物”から、現代人の生活にマッチした「サラダ感覚の漬物」や料理に生かす楽しみが広がる「季節の保存漬け」などが満載。

『からだの不思議がわかる！』

山田真／監（実業之日本社）

子どもが疑問に思う「からだ」のなぞをQ＆A方式でやさしく解説。これで、わが子の「なぜ？」が解決でき、親子でスッキリ！

『言葉はなぜ生まれたのか』

岡ノ谷一夫／著　石森愛彦／絵（文藝春秋）

なぜ、人間だけが「ことば」を話すのか？　動物の鳴き声をもとに、どのようにして「ことば」ができたのか？　興味、関心の深まる一冊です。

『近江の滝』

水田有夏志／著（サンライズ出版）

水神として流域の住民に崇められた滝、修験道の水ごりの場として不動明王像が安置された滝・・・人が目にすることで、さまざまな伝説や伝承を生んだ滋賀県内の滝46か所を巡る自然紀行。

催し物のお知らせ 9月

今津図書館

◆かみしばい会
【日時】4日（土）10時30分～11時30分

◆かけはし「朗読会」
【日時】10日（金）14時～15時

◆エントランス展示「能面展」
【期間】1日（水）～30日（木）

第19回あどがわ図書館まつり 子どもバザー商品募集！

▼募集期間　10月31日（日）まで
▼募集場所　安曇川図書館
▼募集内容　子どもが使えるもの限定
※詳しくは、各図書館設置のちらしをご覧ください。
（主催）あどがわ図書館まつり実行委員会
問 安曇川図書館　☎（32）4711

私のオススメの一冊

図書館利用者のオススメの一冊を、本の感想と併せてご紹介します。

『親鸞（しんらん）』

五木寛之／著（講談社）

読んだ人達が、親鸞上人の偉人物語を不謹慎にも「面白かった」と言います。まさかという思いを胸に本を手にしました。

舞台は、京都東山を中心に悩める一人の青年の物語。真の仏の教えを探し求める間に繰り広げられる、葛藤・恋・友情・幻想・そして怪奇。あらゆるジャンルの人達を軽快な展開で飽きさせません。文脈の下を善と悪がせめぎ合いながらとうとうと流れ、問いかけます。「あなたは善人ですか悪人ですか。」

（新旭町　上原　則子さん）

▼貸出延長や予約はこちらまでご連絡ください。

開館日カレンダー

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
今津図書館 ☎(22)3827		休							休			話				休						話	休							休
安曇川図書館 ☎(32)4711					話		休							休					話		休						休		
マキノ図書館 ☎(27)0350						休	休						休	休				話		休	休						休	休		
朽木図書サロン ☎(38)2324						休	休						休	休				話		休	休		休				休	休		
新旭図書室 ☎(25)2811	休						休	休	話					休	休					休	休	休	休					休	休	
高島図書室 ☎(36)2160						休	休						休	休				話		休	休						休	休		

話 はおはなし会です。時間や内容など詳しくは各図書館へお問い合わせください。

広報 たかしま 2010 9・1 No.122

高島市 No. 69 歴史散歩

継体天皇 千五百年の謎

～継体の生誕地・高島から探る～

高島を生誕地とする継体大王（継体天皇、男大迹（おほど）王）は、西暦507年に樟葉宮（くずはのみや）（現在の枚方市）で即位したと伝えられています。それは、今から約1500年前のことです。

『日本書紀』によると、継体大王は、応神天皇の5代目にあたる子孫で、彦主人王（ひこうしおう）の王子とされています。彦主人王が、近江国（滋賀県）の高島の三尾の別邸に住んでいた時に、越前国（福井県）から振媛（ふりひめ）を妃（妻）に迎えます。そこで継体大王が、生まれたとされています。

▲鴨稲荷山古墳家形石棺（6世紀前半）

高島市には、継体大王の生誕地としての伝承や、関連する遺跡が多く残されています。継体大王の父、彦主人王の墓所と伝えられる「田中王塚古墳」・振媛が継体大王を出産した時にもたれかかったとされる「安産もたれ石」・継体大王を出産した時の胞衣（えな）を埋めたという伝承が残る「胞衣塚」・金銅製（こんどうせい）の宝冠（ほうかん）・飾履（かざりぐつ）など豪華な副葬品がおさめられていた「鴨稲荷山古墳」が存在します。鴨稲荷山古墳の被葬者は、越前をはじめとする北陸諸国や、大和・河内の有力者と関係をもち、継体大王の擁立に深く関わった豪族の墓ではないかと推定されています。

今回の高島古代史フォーラムは、一連のまとめとして、「継体天皇千五百年の謎」をテーマに、継体大王の即位の経緯や、継体大王を支援した勢力について文献史料や考古学的見地から考察し、継体大王の謎に迫ります。ぜひ、ご参加ください。（文化財課）

高島古代史フォーラム

「継体天皇 千五百年の謎 ～継体の生誕地・高島から探る～」

▼日　時　10月31日（日）10時～17時
▼場　所　藤樹の里文化芸術会館
▼内　容
・特別講演
「文献史学から見た継体天皇の即位事情」
塚口 義信さん（堺女子短期大学 名誉学長）
・講演Ⅰ
「鴨稲荷山古墳と継体大王」
高橋 克壽さん（花園大学 教授）
・講演Ⅱ
「考古学から見た継体支援勢力」
中司 照世さん（元福井県埋蔵文化財調査センター所長）
・講演Ⅲ
「坂田・野洲の古墳と継体大王」
辻川 哲朗さん（財団法人滋賀県文化財保護協会 主任）
・公開討論会
コーディネーター
水谷 千秋さん（堺女子短期大学 准教授）
▼定　員　400人（先着順）
▼参加費　500円（資料代込）
▼受　付　9月15日（水）から

関連事業

継体天皇関連遺跡等の現地学習会

▼日　時　10月30日（土）13時30分～17時
▼場　所　鴨稲荷山古墳、田中王塚古墳など
▼定　員　50人（先着順）
▼参加費　100円（資料代込）
▼解　説　水谷 千秋さん（堺女子短期大学 准教授）
▼受　付　9月15日（水）から

★詳しくは、文化財課までお問い合わせください。

問・申 文化財課
☎（32）4467
FAX（32）3568

編集者のつぶやき

表紙は、子どもサバイバル訓練のようす。災害時に必要なものがないという想定で、朝からサバイバルクッキング。災害時には知恵と工夫が大事です。午後からもたくさんの訓練が。暑い中、保護者の皆さんもお疲れさまでした。こういった機会に、災害への備えについて家族で話し合っていただければと思います。訓練終わりには、クワガタをプレゼント。子どもたちは笑顔で訓練を締めくくりました。（広報担当S）

■発行／高島市　編集／政策部企画広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
☎0740(25)8000㈹
http://www.city.takashima.shiga.jp
t-info@city.takashima.shiga.jp

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用。
PRINTED WITH SOY INK 大豆インクを使用しています。